

会 議 名	第3回港区立保育園給食調理業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年11月12日（金） 午後4時30分から 午後7時5分まで
開 催 場 所	みなとパーク芝浦内 芝浦区民協働スペース
委 員	出席者 6名 学識経験者：富永暁子委員、西山良子委員、花澤耕太郎委員 区 職 員：中島博子委員、山本隆司委員、木下典子委員
事 務 局	保育課運営支援係 上野係長、菊池副係長、金田、藤田
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査 試食審査・試食作業工程表審査について 3 第二次審査 プレゼンテーション審査について 4 事業候補者の決定について 5 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査表（試食審査・試食作業工程表審査） 資料2 第二次審査表（プレゼンテーション審査） 資料3 試食作業工程表（B社・D社） 参考資料1 第二次審査タイムスケジュール 参考資料2 第二次審査試食審査評価基準
会議の結果及び主要な発言	
	<p>【1 開会】 （委員長から開会の挨拶）～詳細省略～</p> <p>【2 第二次審査 試食審査・試食作業工程表審査について】 （事務局から説明）～詳細省略～</p> <p>（試食）</p> <p>【3 第二次審査 プレゼンテーション審査について】 （事務局から説明）～詳細省略～</p> <p><u>B社プレゼンテーション</u></p> <p><u>B社への質疑応答</u></p>

A委員	調理器具や着衣の衛生管理はどのように行っているか。
B社	まな板、包丁はアルコール消毒をし、下処理や作業毎にエプロンを替える。 靴は下処理室と給食室で履き替えている。
B委員	現場でのアレルギー対応はどのように取り組んでいるか。
B社	アレルギー情報について調理作業員全員で共有し、アレルギー専用のトレイを使用している。
B委員	アレルギー食の調理担当者は決めているのか。
B社	ひとりが専従で最後まで行う。
C委員	食育についてどのような取り組みをしているか。
B社	クイズを出して食への興味を持ってもらう、動画を観せて、内容について問い掛けることで興味を持ってもらうなどに取り組んでいる。
C委員	試食提案内容についてはどのような工夫をしたか。
B社	目新しい食材に手を付けない傾向があるので、動物の形成で手や足を食べてみようと呼び、口にしてこなかった食材は混ぜるなどで、まずは触れていってもらいように心がけているので選んだ。
C委員	調理過程での取組みや調理技術について、特別なことはしているか伺いたい。
B社	離乳食に関しては、離乳食用の醤油差しを用いて、何滴か計量をし、その量を周知している。
D委員	月2回の巡回が実施可能なのか、また巡回で何を重視しているか。
B社	月2回の巡回可能。 調理作業工程、衛生管理状況の確認だけではなく、現場のコミュニケーション状況やメンタルケアなど多岐にわたっての内容確認で訪問を実施している。巡回時は決まった曜日ではなく、曜日や時間帯を毎回換えて、異なる時間帯で毎回異なる現場の様子を見るようにしている。
D委員	巡回の成果はなにか。
B社	巡回があると意識が引き締まり、個々に違う目線や思いでいる現場に統一感が出る。
E委員	昨年度の異物混入の内容と発生時の対応、防止策などを教えていただきたい。

B社	昨年度の異物混入は髪の毛だった。おかわりの提供で起こったので、1枚ずつ食器の表裏の確認を徹底することで再発を防止する。
E委員	調理師研修は年1回とされているが、その他の研修は行われているか。
B社	保育園については栄養士研修を行い、全従業員対象には年2回の安全衛生講習会を行っている。 (B社退出) <u>D社プレゼンテーション</u> <u>D社への質疑応答</u>
A委員	工程表の内容で、衛生に関する重要管理点はどこにおいているか。
D社	指定の時間内に提供できるかと、安全面を重視し、2時間以内に提供をしている。
B委員	現場でのアレルギー対応はどのように取り組んでいるか。
D社	調理員、調理を分けること。1名が一貫管理して調理をする。
B委員	アレルギー対応で食材についての記載がなかったが、食材の変更はあるのか。他の場面でも対応している点はあるか。
D社	材料は必ず替えているが記載が漏れていた。他には豆まきのイベントでは、袋に入った豆を使い、見守り配慮の一環で、事故防止策として一緒に参加することとしている。
C委員	食育について栄養士はどのような取り組みをしているか。
D社	栄養士が作成した、食材についての紙芝居を見せて、その日の給食に取り入れている。野菜への興味を持ってもらうため、野菜のくずを使ってスタンプを作った。
D委員	企画提案書に、業務責任者の役割のひとつとして、統率力、現場マネジメント能力を満たしたものを配置するとあるが、各園の現場責任者にとって、現場マネジメント能力とは何だと思うか。また、他社より優れている点がどこか教えていただきたい。
D社	マネジメント力とはコミュニケーション力が必要だと思う。また会社ではマネジメント力を高めるためのホスピタル研修などの社内研修が行われている。

E委員	食中毒やアレルギー対応について、他社より優れていると思う点はあるか。
D社	2,600 か所で給食の提供実績があり、体制にも厚みがある。またBCP対応部署を設置し、東日本大震災時も欠食することはなかった。
F委員	人材育成についてどのようなことを実施されているか伺いたい。
D社	パートを含めての全員研修を行っている。
F委員	全社員の受講率はどのくらいになるか。
D社	人事部で受講を促しているので、100%の受講率となっている。
事務局	<p>【4 事業候補者の決定について】 ~各グループの順位の確認~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうなん保育園は、1位B社、2位D社 ・台場保育園は、1位B社、2位D社 <p>なお、両社とも第二次審査の及第点の目安である、252点を超えている。</p> <p>~第二次審査の審議~</p>
B委員	<p>試食：動物あんぱんの見た目は、それぞれが同様に可愛かった。指定された同じ材料でも、重さとやわらかさに違いがあったものの、どちらも美味しかった。</p> <p>プレゼン：両社ともやる気と意気込みは感じたが、B社の作業工程表には丁寧さがあったので、点数に差が出た。また、作業工程表の工程に不足があり、的を射ていなかった。</p>
A委員	<p>試食：同じ材料でも出汁の違いが感じられた。</p> <p>プレゼン：業務への意欲は感じられたが、D社は個々の担当の回答があいまいだったので、点数に差がついた。</p>
F委員	<p>試食：B社のかに型のあるあんぱんの、爪や足の部分にはあんこが入っていなかったが、食感に差があって良いと思った。</p> <p>プレゼン：B社は緊張をしていたのか、回答に元気が感じられなかった。D社には実績はあるが、マネジメントについての質問に回答ができなかったことで、園の対応ができないと感じられてしまった。</p>
E委員	<p>試食：D社のあんぱんの方がやわらかくて美味しかった。B社はあんこの入っていない部分が、子どもにはやや硬いのではないかと感じた。</p> <p>プレゼン：意気込みは良かったが、質疑で差が出てしまった。</p>

D委員	<p>試食：B社の人参の硬さは、月齢に忠実と感じた。かに型のおんぼんは爪と足にはあんこが入っていなかったため、あんこが嫌いな児童でも食べられると思った。</p> <p>プレゼン：B社は役割分担がはっきりできていてチームワークを感じ、積極的に回答をしていた。</p>
C委員	<p>試食：作業工程表の丁寧さでB社を評価した。</p> <p>プレゼン：D社に対応に不安を感じたので、B社を評価した。</p> <p>～事業候補者の決定～</p>
事務局	<p>審議内容を踏まえて順位の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうなん保育園は1位 910点でB社、2位 853点でD社 ・台場保育園は1位 900点でB社、2位 853点でD社
C委員	<p>それでは、保育園給食調理業務委託事業候補者については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうなん保育園はB社、次点D社 ・台場保育園はB社、次点D社 <p>に決定してよろしいか。</p> <p>(全員了承)</p> <p>【5 閉会】</p>